

遷する。瑞穂遺跡では明確な区画墓Ⅲが出現するものの、石勺遺跡には区画墓Ⅲが認められない。したがって、後期後半～終末期では一つの墓地内における格差とともに、異なる墓地間においても明確な格差が認められる。

(3) まとめ

以上のように、瑞穂墓地の変遷・構造およびその背景について整理した。おおむね、北部九州の弥生時代墓地の一般的な変遷・構造と一致する点が多く、弥生墳墓から古墳への変遷過程を一つの遺跡で明確に跡付けることができる点は非常に重要な調査成果といえる。一方で、墓地としての長期的な永続性にくわえ、区画墓Ⅰ・Ⅱや厚葬墓の不在、列墓の残存性、系列墓の不安定さ・区画墓Ⅲの後出性などが特徴として指摘することができる。特に、区画墓Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや厚葬墓は、瑞穂墓地に近い須玖遺跡群といった奴国中枢域や各地の中心的な墓地ではいち早く出現するものであるが、これと比べると瑞穂墓地は後出性が認められる。したがって、瑞穂墓地は奴国中枢の縁辺部的な様相、言い換えるならば北部九州における弥生墓地の一般的な姿を示しているものと評価したい。また、集落と墳墓の動態より、瑞穂墓地は周辺の複数集落の構成員が埋葬されたことが想定され、市域東部（森園遺跡周辺）でも同様の結果を得た⁽¹⁾。一つの共同墓地を構成する集団の範囲は半径1～2km程度と推測される。なお、各集落は複数の居住域で構成し、複数集落の構成員が共同墓地を運営したとするならば、瑞穂遺跡の共同墓地は牛頸川流域における小地域社会の紐帯として機能していたことを示唆する。

※本稿は、溝口孝司による調査指導をふまえ、早瀬賢が九州古文化研究会（2013年11月）において発表した内容を基に、上田が執筆したものである。末筆ながらご指導賜りました溝口氏に深く感謝申し上げます。

【註】

(1) 北部九州の弥生集落の動態を検討した小沢佳憲氏は、特に春日丘陵の詳細な分析結果より、弥生集落の基本的構造として居住域と墓域は一対一の関係にあると指摘している。これは、奴国中枢域における様相と今回対象とした大野城市域のような縁辺部の様相の差異を反映している可能性もある。今後の課題としたい。

【参考文献】

江崎靖隆 2009 「九州地方の弥生時代後期墓制」『弥生時代後期の社会変化』第58回埋蔵文化財研究集会発表要旨・資料集

小沢佳憲 2000 「弥生集落の動態と画期 - 福岡県春日丘陵域と対象として -」『古文化談叢』第44集

小沢佳憲 2008 「④集落と集団1 - 九州 -」『弥生時代の考古学』8 (集落からよむ弥生社会)

鈴木基親・渡辺正気 1958 「福岡県筑紫郡大野町原門所在箱式石棺群出土の内行花文鏡」『九州考古学』第5・6号

溝口孝司 1998 「カメ棺墓の移り変わり」『弥生人のタイムカプセル』(平成10年度福岡市博物館特別企画展図録)

溝口孝司 2000 「墓地と埋葬行為の変遷 - 古墳時代開始の社会的背景の理解のために -」『古墳時代像を見直す』

溝口孝司 2008 「④弥生社会の組織とカテゴリー」『弥生時代の考古学』8 (集落からよむ弥生社会)

柳田康雄 2003 「4木棺墓」『伯玄社遺跡』(春日市文化財調査報告書第35集)

3. 近世墓地の変遷

7・8次調査では近世～近現代の墓地を確認した。ここでは、これら墓地の変遷について言及する。なお、墓地は甕棺墓・桶棺墓・土坑墓（木棺墓）で構成し、詳細な時期が分かる資料や切り合い関係が明確な資料が少ないことから、墓の形式毎に出土遺物からみた前後関係を整理することとする。

最もさかのぼる遺物として、SX34（木棺墓）・SX139（木棺墓）で出土した唐津系の陶器皿がある。砂目痕が残るもので、17世紀代の所産と考えられる。SX130（桶棺墓）・SX149（木棺墓）・SX150（桶棺墓）では、いわゆる「くらわんか碗」が出土し、18世紀中頃～19世紀前半頃に位置づけられる。近代以降の銭は甕棺墓のみに伴い、SX169（大正9年一銭）、SX170（昭和17年十銭）などがある。

以上より、少なくとも17世紀には墓地の形成がはじまり（木棺墓（土坑墓）、18世紀には桶棺墓、19～20世紀には甕棺墓へと変遷したと考えられる。



第131図 瑞穂遺跡7・8次調査近世墓 (1/300)

圖 版



(1) 3次東半部全景
(南から)



(2) 3次東半部全景
(西から)



(3) 3次西半部全景
(東から)

図版 2



(1) 4次全景 (北から)



(2) 4次溝全景 (北から)



(3) 4次土坑全景
(南から)



(1) 7・8次調査区南東側全景（北から）



(2) 7・8次調査区東側全景（南から）

図版 4



(1) 7・8次調査区東側全景（北から）



(2) 7・8次調査区中央部全景（北から）



(1) 7・8次調査区全景（上空から）



(2) 7・8次調査区南西部全景（上空から）



(1) 7・8次
1号・3号甕棺墓全景
(北西から)



(2) 7・8次
1号甕棺墓全景
(北西から)



(3) 7・8次
3号甕棺墓全景
(北西から)



(1) 7・8次
2号甕棺墓全景 (北から)



(2) 7・8次
2号甕棺墓完掘状況
(北から)



(3) 7・8次
3号甕棺墓人骨出土状況
(西から)



(1) 7・8次4号甕棺墓人骨出土状況(北から)



(2) 7・8次4号甕棺墓全景(北から)

(1) 7・8次
5号甕棺墓全景
(西から)



(2) 7・8次
6号甕棺墓全景
(西から)



(3) 7・8次
7号甕棺墓完掘状況
(北西から)

